

平成 21 年 8 月 11 日
全国農業協同組合連合会

はくさいの緊急出荷調整（市場隔離）の実施状況

今般、はくさいの作柄は豊作基調にあり、市場への入荷量が増加しているため、7月以降の卸売価格は平年を3～4割程度下回る価格で推移していたが、主産県の生育状況が順調に推移し、更なる価格の下落が見込まれたため、本会は緊急出荷調整（市場隔離）を実施する旨の届出を行い、長野県本部は次のとおり、7月21日から同月31日まで1,122トン実施した。

対象市場：関東ブロック及び近畿ブロック向け

（単位：トン）

県団体名	産地名	緊急出荷 調整 計画数量	実施数量（速報値）		
			有効利用 用途	土壌還元	計
全農 長野県 本部	南佐久	1,125	—	946.00	946.00
	北佐久		—	91.00	91.00
	中信		0.06	84.94	85.00
合 計		1,125	0.06	1,121.94	1,122.00

資料:alic「ベジ探」、(原資料)農水省「青果物日別取扱高統計結果」

(参考)

農林水産省

プレスリリース

平成21年7月21日
農林水産省

はくさいの緊急需給調整の実施について

農林水産省は、全国農業協同組合連合会から、はくさいの卸売価格の著しい低落に対処するための緊急需給調整(市場隔離)の実施に係る届出を受理しましたのでお知らせします。

概要

野菜は、天候の影響を受けやすく作柄・価格の変動が大きいことから、農林水産省では野菜の安定的な供給を確保し、価格の安定を図るために緊急需給調整の取組を支援しております。

今般、はくさいの作柄は豊作基調にあり、市場への入荷量が増加しているため、7月以降の卸売価格は平年を3～4割程度下回る価格で推移してきましたが、今後も主産県の生育状況が順調に推移し、更なる価格の下落が見込まれます。

こうした事態を踏まえ、全国農業協同組合連合会から、緊急需給調整(市場隔離)を実施する旨の届出があり、これを受理しましたのでお知らせします。(別紙1参照)

産地では、近年の夏野菜の価格低迷により、生産者の経営は更に深刻な状況となっており、野菜の再生産を確保し、今後とも野菜の安定供給を担っていくためには、このような緊急需給調整の実施がやむを得ないことを御理解下さいますようお願い致します。

なお、農林水産省及び独立行政法人農畜産業振興機構では、「夏の元気は野菜から」をキャッチフレーズとして夏ベジプロジェクトを実施(平成21年7月3日記者発表)するとともに、消費者団体を含む関係者で構成する野菜需給協議会の開催等を通じた野菜の需給状況の周知や消費拡大に向けた取り組みを進めております。(別紙2参照)

今後とも、品質の良い野菜を消費者の皆様へ安定的に供給できるよう努めて参りますので、御理解と御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

参考(関連リンク)

- 「夏の元気は野菜から」をキャッチフレーズとした夏ベジプロジェクト
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/natuvege/index.html>
- 野菜需給協議会の概要(第7回)
<http://alic.lin.go.jp/content/000009913.pdf>

<添付資料>(添付ファイルは別ウィンドウで開きます。)

- 別紙1 緊急需給調整(市場隔離)の実施計画(PDF:28KB)
- 別紙2 夏野菜の消費拡大と有効利用の取組(PDF:41KB)
- 別紙3 夏はくさいのレシピ例(PDF:407KB)

— お問い合わせ先 —

生産局生産流通振興課
担当者:需給調整第1班 富山、清水、山田、林
代表:03-3502-8111(内線4822)
ダイヤルイン:03-3502-5961
FAX:03-3593-0889

(別紙1)

緊急需給調整（市場隔離）の実施計画
(平成21年7月17日現在のとりまとめ)

(単位：トン)

実施品目	実施団体	実施期間	対象地域	計画数量
夏はくさい	全農長野県本部	7月下旬	関東	725
			近畿	400
合計				1,125

注： 市場隔離の対象となる野菜については、その一部を学校給食や福祉施設への提供等を通じて有効利用するよう努めるとともに、その他は土壌還元する。

※有効利用に関する問合せ先

・全農長野県本部生産販売部野菜花き課： 026-236-2250